

平成 21 年度 地方独立行政法人静岡県立病院機構 年度計画

県立病院機構は、中期計画の初年度に当たり、医師・看護師等の確保及び育成に最優先に取り組み、中期目標達成のための人材を確保する。併せて、中期目標に掲げる「第一級の病院」、「地域医療支援の中心的機能」を果たす病院として、高度・専門・特殊医療や救急・急性期医療等を提供するため、平成 21 年度重点事業、予算・収支計画・資金計画等を以下のとおり定める。

I 重点事業

1 高度・専門・特殊医療及び救急・急性期医療を提供するための事業

(1) 総合病院診療事業

県内医療機関の中核的病院として、各疾患に対する総合的な医療をはじめ、3 大疾患（心疾患、脳血管疾患、がん）に対する高度・専門医療や救急・急性期医療等を提供する。

県民に提供する医療（業務の予定量）	病 床 数	720 床（670 床）
	一般病床	620 床
	結核病床	100 床（50 床）
	年間延患者数	586,881 人
	外来患者	380,000 人
	入院患者	206,881 人

（ ）は、稼動病床数

①循環器疾患患者に対して循環病センター機能を生かした 24 時間体制による高度な専門的治療を提供する体制の充実

- ・重症心不全疾患の患者に対して冠状動脈疾患集中治療室（CCU）機能を最大限に生かした高度な専門的治療の提供
- ・急性心筋梗塞、脳卒中発症患者に対応する 24 時間救急受入体制の強化
- ・循環器関連診療科の有機的な連携によるチーム医療の推進

②がん疾患患者に対して地域がん診療連携拠点病院としての高度な集学的治療を提供する体制の充実及び地域の医療機関等と連携した緩和ケアや終末期医療の提供

- ・手術治療、放射線治療、化学療法治療にかかるがん診療体制の充実
- ・地域の医療機関等との連携による緩和ケアや終末期ケアの推進
- ・がん相談及び情報提供機能の強化

③重篤な救急患者に対応する救命救急センターに準じた機能を目指した段階的な整備

- ・当番日における救急車搬送患者の受入体制の充実
- ・心肺蘇生（BLS）及び二次救命措置（ACLS）講習の受講等、高度な救命救急医療を支える専門スタッフの育成

（２）こころの医療センター診療事業

県内精神医療の中核病院として、総合的・専門的な精神科医療を提供するとともに、精神科救急・急性期医療や在宅医療支援に取り組む。

県民に提供する医療（業務の予定量）	病 床 数	280 床（ 180 床）
	精神病床	280 床（ 180 床）
	年間延患者数	99,874 人
	外来患者	46,000 人
	入院患者	53,874 人

（ ）は、稼動病床数

①精神科救急・急性期医療の提供体制の整備

- ・診療科体制や看護体制の再編整備及び在宅医療支援体制の整備などによる精神科救急・急性期医療への対応
- ・精神科救急医療相談など総合的な医療相談の充実

②重症患者に対する先進的治療への積極的な取組

- ・先端薬物療法等（クロザピン、m-ECT（修正型電気けいれん療法））の取組に向けた検討

③多職種チームによる包括的在宅医療支援体制モデルの構築

- ・新設する在宅医療支援部を中心とした包括的在宅ケア（ACT）チームによる退院支援と手厚い 24 時間 365 日サポート体制による退院後の地域生活支援モデルの構築

④医療観察法等の司法精神医療への積極的な関与

- ・医療観察法指定医療機関としての機能発揮

（３）こども病院診療事業

県内小児医療の中核病院として、一般医療機関では対応困難な小児患者に対す

る高度・専門医療やハイリスク妊婦に対する周産期医療を提供する。

県民に提供する医療（業務の予定量）	病 床 数	279 床
	一般病床	243 床
	精神病床	36 床
	年間延患者数	168, 228 人
	外来患者	86, 056 人
	入院患者	82, 172 人

①小児重症心疾患患者に対し、24 時間を通して高度な先進的治療を提供する体制の整備及び小児心疾患治療のリーディング施設としての専門医等の育成

- ・循環器集中治療科の新設（手術後の管理を行う専門医の配置）など、小児重症心疾患患者へ 24 時間対応による先進的治療を提供する体制の整備に向けた取組
- ・小児循環器疾患治療スタッフの研修の充実や小児集中治療室（PICU）と CCU の相互研修の実施による治療レベルの向上による循環器センターの機能強化
- ・心エコー画像のリアルタイム遠隔診断の実施

②地域の医療機関と連携したハイリスク胎児・妊婦を早期に把握、治療するための一貫した医療システムの構築と新生児に対しての高度な先進的治療を提供する体制の拡充

- ・新生児・未熟児科の体制拡充と 2 交代勤務制導入による 24 時間体制の構築
- ・多胎妊娠について、早期に把握・受入れ・治療することができるシステムの構築に向けた検討
- ・先天異常の出生前超音波診断などによる妊娠管理から治療まで一貫したシステム構築に向けた取組

③児童精神科分野における県内における中核的機能の発揮

- ・児童精神科専門病棟の開設（36 床）
- ・本県のこどもの精神保健ネットワーク（教育・福祉・医療機関の連携ネットワーク）の構築に向けた取組
- ・児童精神科医の臨床研修充実による児童精神科医の育成

④24 時間を通して重篤な小児救急患者を受け入る体制の強化及び患者の重症度に応じて地域の医療機関と分担して受け入れる体制づくりへの協力

- ・新たに設置する救急総合診療科による小児集中治療センター及び院内各専門領

域のバックアップ機能の強化

- ・本県の小児救急における的確な搬送システムの構築への寄与に向けた取組

⑤小児がん診療連携拠点病院として、高度な集学的治療への積極的な取組

- ・小児がん登録の継続とデータベースの作成、集学的治療の推進、セカンドオピニオンの受入れなど、小児がん診療連携拠点病院としての機能強化

2 地域医療支援の中心的機能を果たすための事業

(1) 病診連携事業

県内の中核的病院として、地域の医療機関では対応困難な急性期の患者を積極的に受け入れるとともに、急性期を過ぎた患者については地域の医療機関に戻すことで、地域の医療機関との機能分担を推進する。また、患者が病態に即した的確な医療を安心して受けられるよう、地域の医療機関との連携を強化する。

- ・紹介・逆紹介の推進
- ・地域連携クリニカルパスの推進
- ・かかりつけ医との診療情報の共有化の推進

(2) 地域の医療機関への支援

地域医療支援の中心的機能を果たすため、急性期病院として必要な医師を確保し、自らの診療体制を確立した上で、地域の医療機関への医師派遣に協力するとともに、高度医療機器等の共同利用を推進するなど、人材、施設・設備両面での地域の医療機関への支援を推進する。

- ・県の医師派遣事業への協力
- ・PET イメージング・センター共同利用の推進

3 医師・看護師確保対策事業

平成 21 年度の最重要課題として、医師・看護師確保対策を次のとおり実施する。

(1) 就労環境の向上

職員にとって魅力ある病院、働きやすい病院を目指し、ハード、ソフト両面から就労環境の向上を図る。

- ・多様な雇用形態や勤務形態の採用
ワーク・ライフ・バランスに配慮した多様な雇用形態の採用や 2 交代制の導入など柔軟な勤務形態の採用
- ・医師・看護師宿舍の整備
県立病院の救急体制等を担う医師、看護師のため、北安東医師宿舍の改修、北

安東医師看護師宿舎の改築（平成 21 年度～平成 22 年度）、こども病院医師宿舎の改築（平成 21 年度～平成 22 年度）

・院内保育所の充実

子育てをしながら働く職員を支援するため、こども病院の院内保育所の増築、総合病院の院内保育所の改築（平成 21 年度～平成 22 年度）

（２）医療従事者が本来業務に専念できる体制の整備

医療従事者の事務負担を軽減し、医療従事者が本来の業務に専念できる体制の整備を図る。

- ・医師の事務負担軽減のための医療秘書の配置拡大（43 名）
- ・看護師の業務支援のための支援員の配置拡大（20 名）

（３）医療従事者の資質向上のための教育研修機能の充実

全国の医療従事者に選ばれる病院を目指し、医療従事者の資質向上のための教育研修機能を充実する。

- ・総合病院メディカルスキルアップセンターを活用した教育研修の充実
- ・医師の技術・知識の向上のための一般研修及び海外研修の充実、海外医師の招聘による研修の充実
- ・認定看護師等の資格取得への支援
- ・学会や研修会等へ積極的に参加できる仕組みづくり

Ⅱ 予算（人件費の見積もりを含む。）、収支計画、資金計画及び収支予算等
予算、収支計画、資金計画及び収支予算等は、別表のとおりとする。

Ⅲ その他業務運営に関する事項

（１）施設及び設備に関する計画

区分	施設及び設備に関する計画
施設	県立総合病院本館リニューアル第 2 期工事 県立総合病院本館設備改良工事 県立こども病院耐震化対策等整備事業 医師看護師公舎整備事業 その他施設整備事業
設備	医療機器・車両等整備事業
その他	県立こども病院電子カルテシステム開発事業

(2) 人事に関する計画

- ・ 計画的な職員採用

事業量に応じた人員の確保を図り、年度末における充足率 100%を目指す。

- ・ 適正な労働時間の管理

特に長時間の時間外勤務となっている所属の計画的な改善を図る。

- ・ 人事評価制度の検討

職員の業績や能力を給与に反映させるとともに、人材の育成等に活用するため、病院事業に適した公正で納得できる人事評価制度について検討する。

(別表)

1 予算(平成21年度)

(単位:百万円)

区分	金額
収入	
営業収益	32,452
医業収益	25,364
運営費負担金	6,933
その他営業収益	155
営業外収益	754
運営費負担金	367
その他営業外収益	386
資本収入	2,916
運営費負担金	0
長期借入金	2,916
その他資本収入	0
その他の収入	0
計	36,122
支出	
営業費用	30,189
医業費用	29,887
給与費	15,668
材料費	8,336
経費	5,616
研究研修費	266
一般管理費	302
営業外費用	657
資本支出	6,994
建設改良費	4,228
償還金	2,765
その他の支出	50
計	37,890

(注1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

(注2) 期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。

[人件費の見積り]

期間中総額15,872百万円を支出する。

なお、当該金額は、法人の役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。

[運営費負担金の算定ルール]

救急医療等の行政的経費及び高度医療等の不採算経費については、地方独立行政法人法第85条第1項の規定により算定された額とする。

2 収支計画(平成21年度)

(単位:百万円)

区分	金額
収益の部	33,724
営業収益	32,972
医業収益	25,592
運営費負担金収益	6,933
資産見返負債戻入	292
その他営業収益	155
営業外収益	752
運営費負担金収益	367
その他営業外収益	385
臨時利益	0
費用の部	34,647
営業費用	33,730
医業費用	33,370
給与費	15,832
材料費	8,357
経費	5,344
減価償却費	3,567
研究研修費	270
一般管理費	361
営業外費用	838
臨時損失	28
予備費	50
純利益	▲ 923
目的積立金取崩額	0
総利益	▲ 923

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

3 資金計画(平成21年度)

(単位:百万円)

区分	金額
資金収入	39,554
業務活動による収入	33,206
診療業務による収入	25,364
運営費負担金による収入	7,300
その他の業務活動による収入	542
投資活動による収入	0
運営費負担金による収入	0
その他の投資活動による収入	0
財務活動による収入	2,916
長期借入れによる収入	2,916
その他の財務活動による収入	0
前事業年度からの繰越金	3,432
資金支出	39,554
業務活動による支出	30,896
給与費支出	15,872
材料費支出	8,336
その他の業務活動による支出	6,688
投資活動による支出	4,228
固定資産の取得による支出	4,228
その他の投資活動による支出	0
財務活動による支出	2,765
長期借入金の返済による支出	0
移行前地方債償還債務の償還による支出	2,765
その他の財務活動による支出	0
翌事業年度への繰越金	1,665

(注1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

(注2) 前事業年度からの繰越金は県からの承継額である。

～ともにつくる 信頼と安心の医療～

4 収支予算等

(1) 収益的収入及び支出

①収入

(単位:千円)

款	項	目	金額
営業収益			32,971,534
	医業収益		25,591,588
		診療収益	25,156,598
		その他医業収益	468,461
		保険等査定減	▲ 33,471
	運営費負担金収益		6,932,517
		運営費負担金収益	6,932,517
	資産見返負債戻入		292,271
		資産見返負債戻入	292,271
	その他営業収益		155,158
補助金等収益		155,158	
営業外収益			752,279
	運営費負担金収益		367,483
		運営費負担金収益	367,483
	その他営業外収益		384,796
		補助金等収益	41,248
		財務収益	7,500
雑益		336,048	
臨時利益			30
	臨時利益		30
		過年度損益修正益	30
計			33,723,843

②支出

(単位:千円)

款	項	目	金額
営業費用			33,730,439
	医業費用		33,369,927
		給与費	15,832,309
		材料費	8,357,340
		経費	5,343,883
		減価償却費	3,566,636
		研究研修費	269,759
	一般管理費		360,512
		給与費	218,143
		経費	104,168
	減価償却費	38,201	
営業外費用			838,296
	財務費用		626,940
		支払利息	626,940
	その他営業外費用		211,356
		資産取得に係る控除対象外消費税償却	170,134
		消費税	19,902
雑損失		21,320	
臨時損失			28,443
	臨時損失		28,443
		固定資産除却損	28,443
予備費			50,000
	予備費		50,000
		予備費	50,000
計			34,647,178

注1) 支出予算の流用は会計規程に定めるところによる。

注2) 棚卸資産の購入限度額は8,728,284千円とする。

(2) 資本的収入及び支出

①収入

(単位:千円)

款	項	目	金額
資本収入			2,916,000
	長期借入金		2,916,000
		長期借入金	2,916,000

②支出

(単位:千円)

款	項	目	金額
資本支出			5,684,306
	建設改良費		2,919,000
		資産購入費	839,000
		建設改良費	2,080,000
	償還金		2,765,306
移行前地方債償還債務元金償還金		2,765,306	

注1) 支出予算の流用は会計規程に定めるところによる。

(3) 債務負担行為

事項	期間	限度額
医師看護師公舎整備事業工事契約	平成 21 年度から 平成 22 年度まで	1,386,000 千円 〔 工事予定額 1,488,500 千円 平成 21 年度予算計上額 102,500 千円 〕
県立こども病院電子カルテシステム開発等委託契約	平成 21 年度から 平成 22 年度まで	312,000 千円 〔 委託予定額 520,000 千円 平成 21 年度予算計上額 208,000 千円 〕

(4) 長期借入金

目的	期間	限度額
県立総合病院本館リニューアル第 2 期工事 県立総合病院本館設備改良工事 県立こども病院耐震化対策等整備事業 医師看護師公舎整備事業 その他施設整備事業 医療機器・車両等整備事業 県立こども病院電子カルテシステム開発事業	30 年以内 (据置期間を含む)	2,916,000 千円